

50日

今日は、11月12日（金）です。令和3年、2021年も残り50日となりました。皆さんは、どちらかというところ、4月から3月までの年度というサイクルで1年を考え、目標を立てたり、行動していることが多いと思います。学校がそうになっています。学年の進級もそうです。

世の中では、1月1日から令和4年、2022年となります。そして、「去年はこうだった。今年はどうしたい」などと、新年の抱負（ほうふ）を考えたりします。

12月31日までを一つの区切りと考えると、残された期間は50日となります。今年一年は、どんな年だったのでしょうか。思うようにいったのでしょうか。悩んだり苦しんだりしたこともあったことでしょうか。それは、わるいことではありません。すべては、皆さんが成長するために必要なことです。

やり残していることはないのでしょうか。誰にでもあるのではないのでしょうか。もう令和3年、2021年が終わっても大丈夫、何の後悔（こうかい）もない、やり残したことはないという人はいないでしょうか。

では、残りの50日で何をすべきか、何ができるかを考えてみてください。一番気になっていることは勉強のことですか。この前、ある生徒に「最近、イライラしているみたいだけれど、どうしたの？」と聞いてみました。すると、その生徒は「勉強」と答えました。「勉強がどうしたの？」と聞くと、「勉強ができるようになりたい」とのことでした。 *一朝一夕（いちちよういっせき）きわめてわずかな時間。ほんの少しの間。

きっと焦りがあるのでしょう。一朝一夕（いちちよういっせき）にはできるようにはならないのが勉強です。けれど、毎日コツコツと努力を続けると、わかるようになる、できるようになるのが勉強です。だから学習の習慣が大切なわけです。残り50日あれば、かなりのことができます。勉強ならば、わからなくなった、できなくなったところまで戻って復習してもいいでしょう。問題集をここまでやると決めてもいいでしょう。目標を決めてやってみるには、よい期間です。

皆さんは、今年、何冊の本を読みましたか。50日あれば、数冊は読めるでしょう。読書は心の栄養です。SNSなどの影響で、皆さんが画面を見ている時間の長さが問題となっています。少しでも、本と向き合う時間が長くなれば、また違った生活を送ることができます。

まずは、12月23日（木）第2学期終業式の日まで、やることを絞（しば）って、毎日コツコツと取り組んでいきましょう。そして、令和3年、2021年が、自分にとって、家族にとって、友達にとって、少しでもいい年だったとなるようにしていきましょう。